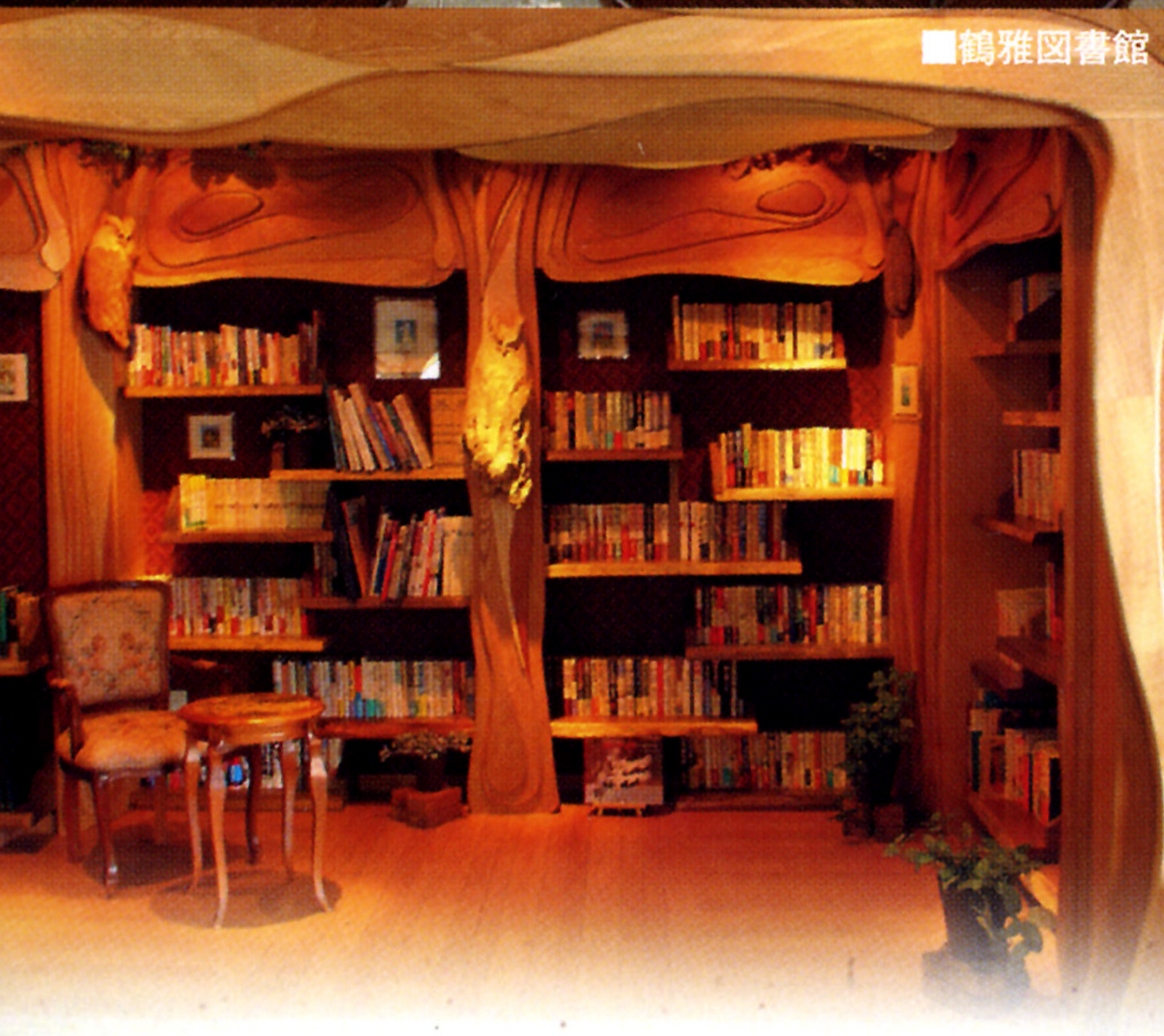


■ギャラリー「森の夢」



■オーディオコーナー



■鶴雅図書館

九階◎ギャラリー「森の夢」

美に触れ、
音を浴びる。

その土地ならではの文化の香りに触れること。それは、非日常の憩いのあり方として究極のものかも知れません。

鶴雅では、北の大地に脈々と

受け継がれている郷土の文化を

立体的に紹介するためにギャラリーを

設けました。さらに、美しく、迫力のある

音楽を満喫するオーディオルームや

思索に耽る図書室もご用意しました。

郷土の文化に触れる「旅」の時間
語り部の会

訪れた地の人々の話を聴きながら、郷土の文化や自然の魅力を知る「旅」ならではの時間。地元の有志によるやさしい阿寒の物語は、心豊かになれるひとときです。



●会場/8階ギャラリー「森の夢」
●時間/PM8:30~PM9:00

◆作者紹介

「加藤 秋霜氏」



1923年、釧路市生まれ。18歳で書道入門。25歳で書道研究グループ「書峰社」を結成。現在主宰。日展会友、毎日書道展審査委員(社)創玄会理事審査員。札幌市長室の額装「与謝野晶子の歌」、釧路市生涯学習センターのアートギャラリーに四曲屏風「鶴舞心」など所蔵作品多数。海外でも作品を発表する。



「瀧口 政満氏」



1941年、満州生まれ。3歳の時、肺炎による高熱で、聴力を失う。東京教育大学附属ろう学校高等部卒業。同大学名誉教授・朝永振郎博士より口話賞授与。28歳より阿寒湖畔在住。彫刻に打ち込む。釧路、札幌、千葉、東京等で個展開催。阿寒湖小、釧路市立博物館、阿寒湖ビジターセンターにレリーフ寄贈。

「藤戸 竹喜氏」



1934年旭川市生まれ。1971年のレニン博物館へのレニン像の納品をはじめ、1989年に英国エジンバラ公へ怒熊を、1984年には来町された皇太子ご夫妻へ丹頂のレリーフを献上。1999年には、ワシントンDC、スミソニアン国立自然博物館にて作品展、大胆かつ繊細な作品は各方面で高い評価を受けている。



「床ヌプリ氏」



1937年、釧路市生まれ。25歳で、第1回個展(東京)を開催して以来、全国各地はもとより海外で「吾展等」出品。1990年にはカナダのバーナビー市に野外彫刻を制作。木に向かつて、猛烈なエネルギーを放射するが如きその芸術は高く評価され、日本の皇室にも献上される。

